



前回の例会報告

第2169回例会3月22日(木)

於・小林楼 PM 6:00~8:00

○出席報告

関根委員長

日付	出席	欠席	メーク	出席率	天気
3月15日	22	3	1	88.46%	晴

○幹事報告

加部東幹事

・幹事メモの報告

○会長の時間

田口会長

本日は、社会奉仕フォーラムとして、小林楼さんでの開催です。

社会福祉でまず考えることはひとりでに回りだす資金かどうかだそうです。いくら緊急に必要な食料品でも、食べてしまつて次が必要というのは通用しにくいようです。

○卓話 「社会奉仕フォーラム」

竹内社会奉仕委員長

●本日のテーマ

大洗 RC が実施している社会奉仕の目的を再確認し、地域に相応しい活動を見つめなおすとともに、地域のニーズに即した新しい事業テーマについて考える。



●2017~2018年度大洗 RC 会長方針と計画(抜粋)

・今、ロータリーは「変革」の時を迎えております。クラブ運営の柔軟性や独自性を認められ、大きな流れに対応していかなければなりません。

・本年度で10年目となる教育的、人道的奉仕プロジェクトとして実施されてきました「発達障害を抱えた児童とその保護者のための子育て支援」は、地域のNPO法人こどもの育ちサポートステーションの協力を得て今年も5回火災開催します。本年度は、その認知度を高めるために、創立45周年の記念事業として、映画「みんなの学校」の上映会を企画しました。

・また、参加してから11年目になる「木戸房池里山整備事業」は、協働により身近な森林を守り育てることが地域の環境整備と地球温暖化防止の一翼を担うと考え、定期的に里山整備作業にクラブとして会員が継続して汗を流していきたいと考えます。

●2017~2018大洗 RC 社会奉仕委員会活動計画

1. 活動方針

「地域社会と共生し、感謝される奉仕活動を計画・実行します」

2. 活動計画

- ・クリーンアップ大洗への参加(H29年7月2日)
- ・木戸房池里山整備事業(H30年1月27日)
- ・社会奉仕フォーラムの開催(H303月22日)
- ・水辺プラザの桜の整備(H30年4月12日)
- ・大洗町交通パレードへの参加(H30年4月予定)
- ・発達障害児と保護者のための子育て支援活動(青少年奉仕と合同)
- ・大洗町芸術文化協議会への協賛
- ・その他、RCメンバーからの提案事項

●社会奉仕フォーラム発言要旨

・発達障害児の支援事業を行っているNPO法人が撤退することと、先日、教育長と話し合いを行った。事業を継続したいが活動団体がなく、役所は活動を引き受けられない。事業継続を前提に様々な団体と話し合いを持っていく。





・事業の中で外せるものは無い。地域に密着した事業を探っていきたいが、事業が増えすぎると手が回らなくなる。国際交流と社会奉仕を合わせた事業ができないだろうか。

・事業は参加することに意義がある。



・整備事業にも発達障害児の支援事業にもキーパーソンが必要。発達障害児の支援事業のキーパーソンを失ってしまったが、事業継続は必要だと考える。



が、事業継続は必要だと考える。

・単年度限り、単発事業ではイメージが悪い。事業の継続が大事。
・1クラブで1つ大きなプロジェクトをやれば良いと昔に言われたことがある。



・自分が事業のキーパーソンと言われるようにになりたい。



各会員から他にも様々な意見が出されました。発達障害児の支援事業の継続には厳しい環境もありますが、事業の継続は重要であります。一方では新たな活動を考えても良いので、本日の意見を参考に、次年度の活動については、次年度会長を中心に良く検討して頂きたいと考えます。

フォーラム終了後には、坂本次年度会長の音頭で乾杯を行い、小林楼さんの料理に舌鼓をうちながら懇親を深めました。



次回例会 第2171回例会
4月12日(木) 12:30~
於：**水辺フラザ**
社会奉仕活動
「水辺フラザの周囲を清掃」

今月は母子の健康月間です。

今月のロータリーレート \$1=¥104



**ロータリー：
変化をもたらす**

欠席の連絡は飛田会場監督まで
TEL029-240-5008 FAX 269-1239
E-mail tobi@uekou.com

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか
会報委員会 土山 大輔 海老澤 一夫 土子 吉久